

奈良教区「3団体合同1泊平和学習研修会」

奈良教区仏教壮年会連盟 理事長 田中彰一

奈良教区では、令和6年7月12日・13日の2日間、平和学習の一環として、奈良教区仏教壮年会連盟・門徒総代会・門徒推進員連絡協議会の3教化団体合同で、広島方面1泊合同研修会を行いました。

奈良教区では、各教化団体が個別に研修会を行ってきましたが、今年度は各教化団体が横の繋がりを密にし、問題意識への思いを一つにすることにより「共に助け合いながら各団体の活動の充実を図ろう」を目標に学びと懇親を深め、連携を取りやすくするために教化団体の枠を超えた合同研修会を開催いたしました。

研修日程・内容

7月12日 本願寺広島別院参拝

- ・勤行 「讃仏偈」
- ・ご挨拶 榮 俊英 輪番

内容：広島別院の現在までの成り立ち・現在の安芸教区の状況等

- ・ご法話 日下正実 師（本願寺派布教使、安芸教区広陵東組千曉寺住職）
講題「後生の一大事」

7月13日 「平和記念公園・広島平和記念資料館」見学



7月12日（金）

本願寺広島別院にて



7月13日（土） 平和記念公園にて

研修2日目は、広島平和記念資料館を見学しました。原子爆弾の恐ろしさや被爆地の悲惨さ、そして戦争の残虐さに、見学途中より自分の感情が追い付かず直視できなくなる所もありましたが、大変勉強になりました。

そのあと、原爆ドームを見学し、平和記念公園内を散策しました。

今回の研修に参加させていただき、私は親鸞聖人の「世のなか安穏なれ」のお言葉を思い出しました。そして念仏者として平和を願うだけではなく、どのように生きていかなければならないかを改めて考える機会をいただいた研修会であったように思います。

今回の研修は教区内の教化団体の枠を超えた、奈良教区として初めての試みでした。これまでは、たまにお顔を拝見するという間柄であった方々とも、帰りのバスの中では和気あいあいとした雰囲気となり、教区の行事・組の困り事・所属寺の現状などの話も出たと後日参加者の方からお聞かせいただきました。各教化団体代表の方からは「また、合同研修しましょう」とお声掛けいただきました。

代表の方々と、「これからも教化団体の枠を超え連携を密にし、お互い御同朋として教区、宗門を盛り立てる一翼を担えるよう頑張りましょう」と声を掛け合いながら研修を終えることができました。

合 掌